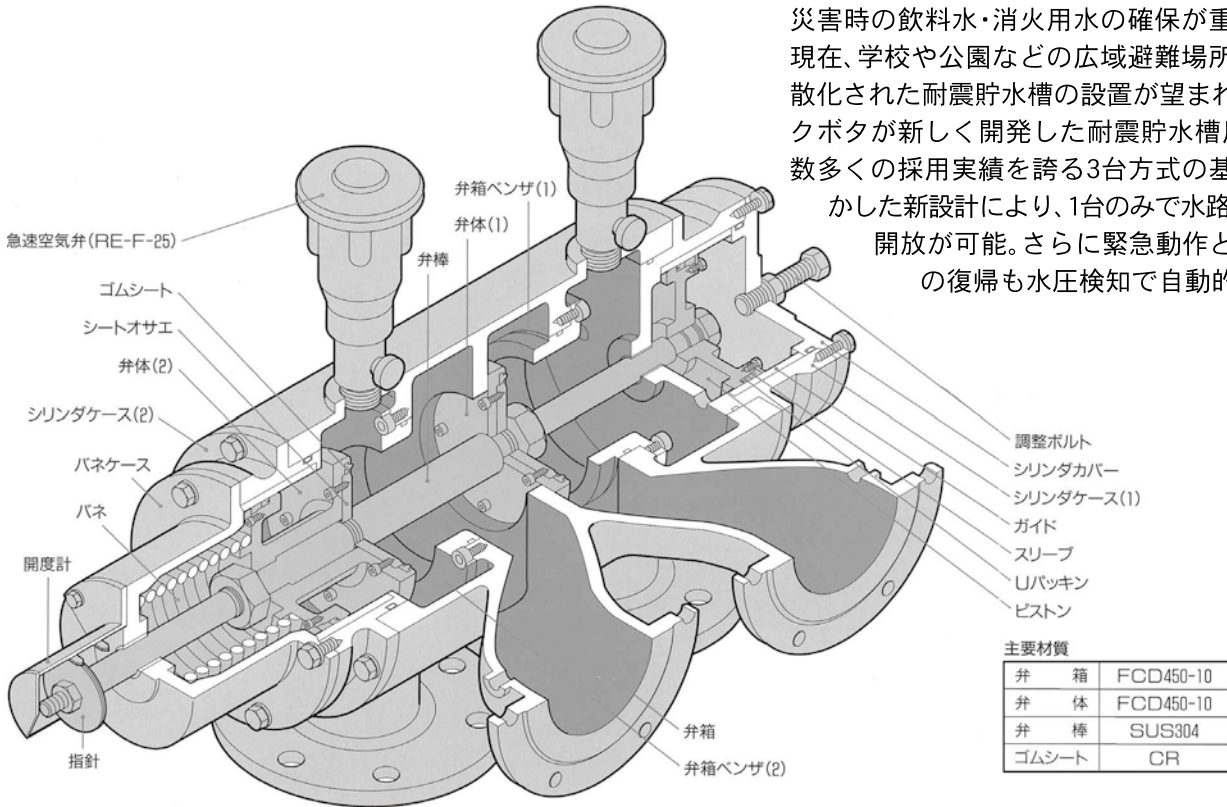


耐震貯水槽用(スプロール)緊急弁

災害時の飲料水・消火用水の確保が重用視される現在、学校や公園などの広域避難場所を中心に分散化された耐震貯水槽の設置が望まれています。クボタが新しく開発した耐震貯水槽用緊急弁は、数多くの採用実績を誇る3台方式の基本構造を生かした新設計により、1台のみで水路の緊急遮断・開放が可能。さらに緊急動作と待機状態への復帰も水圧検知で自動的に行えます。



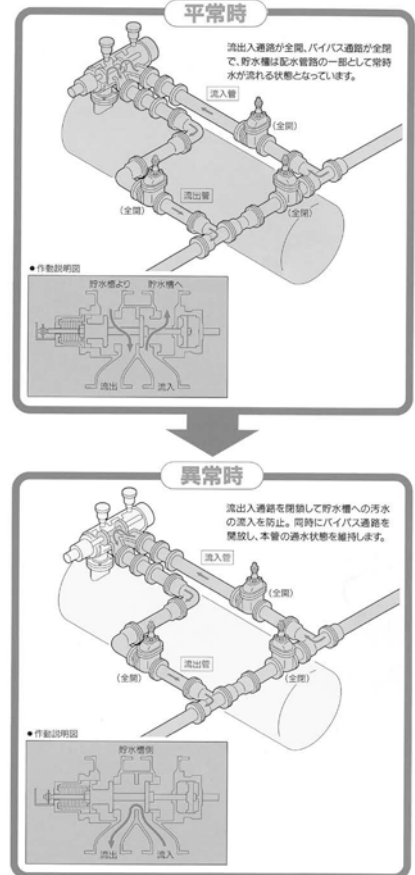
特長

- 1. ハルブ1台に3つの機能を内蔵**
流入・流出・バイパスの3つの通路を1つのハルブ内で構成。通常時は貯水槽を介して通水しますが、水圧低下時には流入・流出通路の遮断とバイパス通路の開放を行い、水の流れを敏感に切り換えます。
- 2. 水質保全と断水防止を同時に**
緊急時にはワンモーションで流入・流出通路を遮断すると同時にバイパス通路を開放。貯水槽内への汚水流入を防ぎ、飲料水に適した水質を確保するとともに、給配水管の断水も防止します。
- 3. 良質な水を確保する自動復帰式**
消火活動などにより給配水圧が一時的に異常低下し、緊急弁が緊急作動した場合も、水圧が復元すれば平常時の待機状態に自動復帰します。そのため貯水槽内の長時間断水が避けられ、つねに良好な水質が保てます。

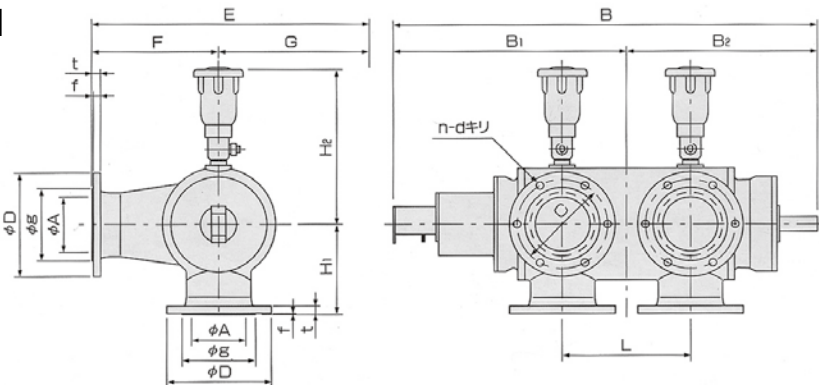
- 4. 貯水槽搭載に適した軽量・コンパクト設計**
止水機構はもちろん作動装置も扇形弁箱内に内蔵。本管側・貯水側との接続フランジを弁箱へ直角に設定したことで、本体のコンパクト化と軽量化を表現しました。これにより貯水槽の埋設深さを浅くでき、施工コストも削減できます。
- 5. 作動方式は信頼性の高いスプロール構造**
数多くの採用実績を誇るクボタの従来型緊急弁(3台方式)の基本構造を継承し、改良を重ねた新スプロール構造を採用。緊急時・復旧時の作動源となる運動式の水圧とパネとの組み合わせにより、動作の信頼性が一段と高まりました。

- 6. 経年変化の少ない止水性能**
弁体側のゴムシートは、異常時(全閉位置)に弁箱シートへ押しつけるだけで圧着止水する構造。シートの摺動がないため経年的な変化が少なく、長期間の使用においても止水性能を維持します。
- 7. 電源不要の水圧検知方式**
緊急作動はパイロット配管に設けられたダイヤフラム弁が管内の水圧低下を無電源でキャッチし、水圧差を大気解放するスプリングリターン方式を採用しています。
- 8. 防錆効果に優れた粉体塗装**
弁本体の内外面には水通用エポキシ樹脂系粉体塗装を施しているため、優れた防錆効果が期待できます。

耐震貯水槽用緊急弁の配置と流れ



寸法図



型番	A	B	C	D	f	t	n	d	B	B ₁	B ₂	L	E	F	G	H ₁	H _e
EC-TW-100	100	152	195	238	3	21	4	19	1158	639	519	300	720	350	380	250	435
EC-TW-150	150	204	247	290	3	22	6	19	1158	639	519	350	720	350	380	250	435
EC-TW-200	200	256	299	342	3	23	8	19	1350	742	608	400	805	400	405	300	460
EC-TW-250	250	308	350	410	3	24	8	23	1695	952	743	500	870	430	440	350	495
EC-TW-300	300	362	414	464	3	25	10	23	2000	1130	870	600	950	470	475	400	530

単位:mm